

【】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(ただし、句読点や記号も一字に數えます。)

百匹の大蛇 助数詞あれこれ

太宰治の「走れメロス」の中に、「メロスはざんざと流れに飛び込み、百匹の大蛇のように@のたうち荒れくるう波を相手に、必死の闘争を開始した。」という文があります。ここでは蛇を「百匹」と数えています。蛇は「百匹」ですが、ライオンなら「百頭」でしょう。この①「ヒキ（匹）」とか「トウ（頭）」とかを「助数詞」と呼びます。

イヌはどう数えますか。やっぱり「五四」のように「ヒキ（匹）」を使いそうですね。（中略）パンダあたりは両方ありそうです。ではクイズです。次の物を数えるのに使う助数詞は何でしょくか。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 箕箒・羊羹 | ……サオ（棹） |
| 2 エレベーター・お墓・ガスタンク | ……キ（基） |
| 3 ざるそば・田んぼ | ……マイ（枚） |
| 4 ピストル・バイオリン・豆腐 | ……【 A 】 |
| 5 煙突・ホームラン・番組・手紙 | ……ホン（本） |
| 6 自動販売機・コンピュータ・カメラ | ……ダイ（台） |
| 7 鏡・テニスコート・琵琶・硯 | ……メン（面） |
| 8 刀 | ……②フリ（振） |
| 9 箸 | ……【 B 】 |
| 10 蝶 | ……トウ（頭） |

「サオ（棹）」と「フリ（振）」とは③和語の助数詞、その他は漢語の助数詞です。実は（というほどのこともないのですが）筆者は、『新明解国語辞典』という小型の国語辞書の第四版の編集に、ほんの少しだけかわったことがあります。どうかわったかというと、第四版では数え方を示そうということになったのですが、その基礎データをつくるために、新聞や雑誌、スーパーの広告、小説などから助数詞をかたづけながら拾い集めるという作業をやりました。

この辞書は今、第七版が出版されていますが、その見出し項目「いちめん（一面）」のところを見ると、助数詞「メン（面）」を使う例として、「琴・琵琶・碁（将棋）盤・硯・仮面・額・壁・テニスコート・サッカー場・野球場・グラウンド」があげられていますが、こういう実際の例を集めたわけです。なんとなくその時のことを思い出して懐かしい気がします。

さて、助数詞「メン（面）」であれば、右の例のように、「メン（面）」をもつたと判断できるような物を数える場合に使われるわけです。「コト（琴）」や「ビワ（琵琶）」も、まあ **1** 面をもつた楽器ですね。だから、「メン（面）」という助数詞がついている物は、**1** 面がある物だと思います。

「マイ（枚）」もやはり **1** 面をもつた物を数える場合に使いますね。だから「タンボ」や（ざるに盛つてある）「ザルソバ」を「マイ（枚）」と数えるわけです。タイのように **1** 魚にも「マイ」を使うことがあります。

「チヨウ（蝶）」を数えるのに「トウ（頭）」を使うことはちょっと特殊で、これは蝶の収集家などの間で使われています。ひろく使うことができ、実際^④ひろく使われている助数詞に「コ（個）」があります。「コ（個）」なので、他から切り離されていることになります。トマト一個、消しゴム一個、電球一個など、さまざまなものに使うことができますね。

最近では「二個上の先輩」といういいかたを^⑤耳にすることがあります。これは筆者ぐらいの年齢の者には少し気になるいいかたです。年齢は「**2**」で数えるのですから、「二**2** 年上の先輩」というのがいいのではないかと思います。

いろいろな年齢の人と話す

またちょっと^⑥脱線ですが、小学校も中学校も高等学校もそして大学も、ほぼ同じ年齢の人の集まりです。もちろん教員は年齢が上ですが、大部分が同じ年齢です。同じ年齢の人同士で話すのが学校の特徴です。こんなことはきっと学校では話題にならないことでしょう。だから、話が通じやすいわけです。興味のあることも共通していることが多いでしょうし、見るテレビ番組も同じようなものでしよう。

I、学校から一歩外に出れば、そうではないわけです。^⑤家族だつてそうです。おとうさん、おかあさんとは年齢が離れているし、年が少し離れた兄弟姉妹がいる人もいるでしょう。町に出ればもつとそうです。いろいろな年齢の人がいます。

町をちょっと^⑦大袈裟に「社会」と言い換えてみましょう。

社会に出れば、いろいろな年齢の人と話すことがあります。そこで、自分たち同じ年齢同士にしか通じない「ことば」を使うのでは困ります。だつて、それではあなたがたの話が相手に通じません。

^⑥大人のことばはむずかしくてわかりにくいかもしれません。それでも同じ日本語なのだから、まったくわからないということはないでしょう。それと同じで、あなたがたの話が年輩の人にはわかりにくいかもしれません、なんとかわかるとはしてくれるはずです。**II**、話がまったく通じないということはないでしょう。**III**、あなたがたはあなたがたで、大人の人にも通じるように話す努力をする必要があるし、相手のことばを理解しようと努力する必要があります。

^⑦ことばは世代を超えて通じなければ意味がありません。そういうこともちょっと考えてみてください。

問一 ～～～部Ⓐ～Ⓒのことばの意味として最も適切なものをⒶ～工の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア はげしく上下左右に動き回っている様子
イ 大勢が押し合って大きな音を立てる様子
ウ はげしい渦を作つて回つてゐる様子

ア. はげしく上下左右に動き回っている様子
イ. 大勢が押し合って大きな音を立てる様子
ウ. はげしい渦を作つて回つている様子
エ. 苦しみもがいて転げ回つている様子

⑥ 耳にする

ア. 聞きつけること
イ. 何度も聞くこと
ウ. ささやかされること

ア. 話が本来の内容から外れること
イ. 話がうわさになつて広がること
ウ. 話が正しく伝わらなくなること
エ. 話がふざけた笑い話に変わること

◎ 脫線

問一 部①「ヒキ（匹）」とか『トウ（頭）』とかを『助数詞』と呼びます」とありますが、「ヒキ（匹）」と「トウ（頭）」の使い分けはどこにあると考えますか。自分で考えて、簡潔に説明しなさい。

問三 文中の空欄【A】・【B】に入る助数詞を次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア. フク
イ. ケン
ウ. ゼン
エ. カン
オ. チヨウ

問四 部②「フリ（振）」とありますが、「刀」をこのように数えるのはなぜだと考えますか。その理由を簡潔に説明しなさい。

問五 部③「和語の助数詞、その他は漢語の助数詞」とあります。1から10の数字を和語では「ひ・ふ・み・よ・いつ・む・なな・や

(1) 「和語での読み方」、「漢語での読み方」を別の言い方でいうとそれぞれ何読みと言いますか、答えなさい。
なお「和語」は（ア）、「漢語」は（イ）に解答すること。解答はひらがなでも構いません。

(2) 助数詞の中で、考え方が和語から途中で漢語になるものがあります。それは何を数える時ですか。その数えるもの（対象）と、実際の数え方の例をあげて答えなさい。

問六 文中の空欄 **1** に入れるのにふさわしい語句を答えなさい。

問七 — 部④「ひろく使われてる助数詞に『コ（個）』があります。『コ（個）』なので、他から切り離されていることになります」とあります

が、それとは反対に、個別に切り離されていない、まとまとたものを数えるときの助数詞にはどのようなものがありますか。一つ例をあげて答えなさい。なお、解答する助数詞は漢字で答えなさい。

問八 文中の空欄 **2** に入れるのに最もふさわしい助数詞を漢字で答えなさい。

問九 文中の空欄 **I** **II** **III** に入れるのに最もふさわしい言葉を次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア・だから イ・それでも ウ・そして エ・ところで オ・しかし

問十 — 部⑤「家族だつてそうです」の「そう」はどういうことを指していますか。本文中の言葉を使って十字以内で答えなさい。

問十一 — 部⑥「大人のことばはむずかしくてわかりにくいかもしれません。それでも同じ日本語なのだから、まったくわからない」ということはないでしよう」とありますか、次の日本語の言葉はどのような意味だと思いますか。答えなさい。

・「よしなに」

使用例 「よしなに」にお頼み申し上げます

問十二 — 部⑦「ことばは世代を超えて通じなければ意味がありません」とありますが、それはなぜですか。その理由を、「ことば」、「社会」、「コミュニケーション」という語を必ず用いて、四十字以内でわかりやすく答えなさい。

〔二〕次の各問いに答えなさい。

A 漢字に関する問題

問一 次の各文から、誤っている漢字一字を抜き出して、正しく書き直しなさい。

- ① あの病氣にも、やつと薬の効果が表れてきた。
- ② 今年も三角形の面績を求める問題が出題された。
- ③ 作文を暮集しているコンクールを紹介された。
- ④ 警察の専問家が交通事故の原因を調べている。
- ⑤ 祖父は友人が描いた桜の絵に関心していた。

B ことわざ・慣用句に関する問題

問二 次のことわざ・慣用句と似た意味を持つものをあとの語群から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 後の祭り あと
- ② 猿も木から落ちる
- ③ 猫に小判
- ④ 泣き面に蜂
- ⑤ 雀百まで踊り忘れず

【語群】

- ア. 馬の耳に念佛
- イ. 弱り目にたたり目
- ウ. 青天の霹靂 (へきれき)
- オ. ぬかに釘 (くぎ)
- カ. 三つ子の魂 (たましい) 百まで
- キ. 六日の菖蒲 (しょうぶ) 十日の菊
- エ. 弘法も筆の誤り (こうぼう)

C 言葉づかい・文法に関する問題

問 二次の各文の傍線部の言葉の意味と同じ意味の外来語をあとの語群から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 災害で壊された水道や電気などの社会生活の基盤を整備する。
- ② 定額料金を支払うことで、音楽配信を楽しんでいる若者が多い。
- ③ 中野は便利な街で、多くの交通手段が利用できる。
- ④ 政権公約を守らない政治家は信用するに足りない。
- ⑤ 憲法改正に向けては、国民の合意を得ることが何より大切だ。
- ⑥ これからは地球規模の企画を考えなければならない。
- ⑦ 祖母は栄養補助食品を飲んで健康を維持している。
- ⑧ お巡りさんは地域の安全を守ってくれている。
- ⑨ アナウンサーは常に声の音の上げ下げや強弱に気を付けている。
- ⑩ 兄は長いこと教習所に通つて、やつと自動車の免許を取つてきた。

【語群】

- ア・サプリメント イ・ライセンス ウ・セキュリティ エ・インターネット
カ・グローバル キ・サブスク ク・アクセス ケ・インフラ
オ・コンセンサス コ・マニフェスト